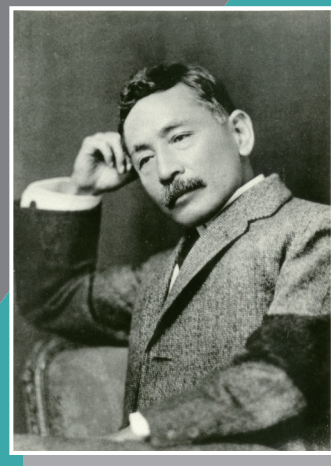


新宿区

夏目漱石記念施設整備基金

平成29年9月24日に新宿区立漱石山房記念館が開館しました。平成25年、記念館の建設のため創設した新宿区夏目漱石記念施設整備基金は、開館後も資料の収集や修復等に役立てるため、引き続きご寄附を募っています。令和4年度は下記のとおりご厚志を賜りました。ご支援いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。



令和4年度寄附実績

19,546,000 円
(193 件)

累計 158,703,131 円
(3,030 件)

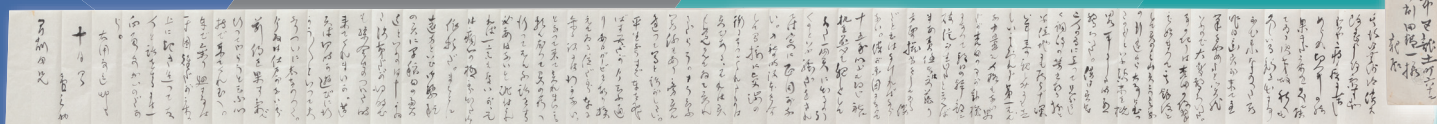
※平成25年7月1日～令和5年3月31日

寄附の活用

令和4年度に基金を活用して購入させていただいた資料の一部をご紹介します。

ゆげたせいいち

夏目漱石 弓削田精一宛て書簡 (明治44年10月4日消印)

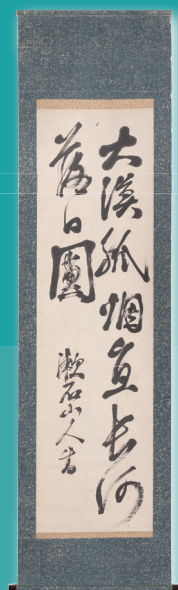


▲弓削田は東京朝日新聞社の政治部長などを務めた新聞人。漱石が主宰した「朝日文芸欄」をめくり、漱石を支援していた同社主筆・池辺三山と対立、三山を退社に追いやった。書簡は、経緯を知った漱石が同欄存続について弓削田に協議する内容であるが、同欄は明治44年10月12日の掲載を最後に廃止となった。

夏目漱石漢詩幅「大漠狐烟直長河落日圓」

(明治42年9月30日 [推定])

▶漱石が満州・朝鮮を旅行した際、汽車で平壤へ向かう前に書いたと思われる自筆書幅。唐代の詩人・王維(701年-761年)の五言律詩「使至塞上」の中の句で、「大沙漠のあなたには、一筋の煙がまっすぐに立ちのぼっている。遥かに流れ行く川の果てには、丸い夕日が沈んでいく」という意味。



問合せ

新宿区文化観光産業部
文化観光課文化資源係

〒160-8484

東京都新宿区歌舞伎町1-5-1 第1分庁舎6階

☎ 03-5273-4126 FAX 03-3209-1500